

リュウキュウマツ

がくめい
学名 Pinus lichuensis

かめい
科名 マツ

べつめい
別名 リュウキュウアカマツ、
オキナワマツ



くぶん
区分 もくほんるい
木本類

ぶんぷ
分布 かごしま
鹿児島 (トカラ列島以南)、沖縄

はかたち
葉の形 せんけい
線形

はふち
葉の縁

はさき
葉の先

はしゅるい
葉の種類 2束生

はつきかた
葉の付方

はきぶ
葉の基部

みしゅるい
実の種類 球果

はながくいろ
花・萼色
あかむらさきいろ
赤紫色 (雌花)
おうはくしよく
黄白色 (雄花)

せつ
めい
明

かいがん
海岸から山地に生育し、高いもので約25m にもなる 常緑の高木です。葉は針のように堅
くて細く尖り、短い枝に2本束ねた状態でついており、長さ10-20 cm、幅約1.2 mmです。
雄花は黄白色、楕円形で長さ14-20 mmです。雌花は赤紫色、卵形で長さ3 mmです。実は
球果で翌々年の秋に熟し、卵状円筒形で長さ3.5-6.5 cm、幅2-2.5 cmです。